

科目名	情報システム設計	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	宮北 和之	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-33-B-3-420007	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	情報システムの設計について、そのプロセスと方法論を学習する。情報システムの構築についてまず体系を理解し、方法論の必要性と種類、特徴について学び、事例を通して理解を深める。情報システムの仕事の仕組みを系統的に説明し、情報のモデル化の技法を工程別・体系的に説明することで、コンピュータシステムの設計へと結びつけていくプロセスを具体的に学ぶ。				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報システムの設計プロセスと、各段階におけるモデルの種類およびその役割を学習して理解できる。(期末試験とレポート60%)</li> <li>・ 簡単な事例について情報システムの具体的な設計を行い、図形表現モデルの作成方法が習得できる。(期末試験とレポート40%)</li> </ul>				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	情報システム開発の概論
第2回	開発計画書
第3回	システム提案書

第4回	要求分析
第5回	外部設計
第6回	内部設計
第7回	データベース設計
第8回	UMLによる内部設計
第9回	プログラミング工程
第10回	単体テスト工程
第11回	結合テスト
第12回	総合テスト
第13回	品質管理

第14回	プロジェクトマネジメント
第15回	開発ツール
第16回	期末試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間. 教科書を精読し, 不明な点などを調べる.
【復習】時間・内容	2時間. レポート課題に解答し, 提出する.

成績評価	
評価基準・方法	期末試験は各講義に沿った問題を数題出題し全問の解答を求める. 成績は期末試験結果 (80%) と講義途中の提出レポート (20%) で評価する.
フィードバック方法	レポート課題の解法および参考答案を講義時に説明する.

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	大場みち子, 伊藤恵, 佐藤永欣, "情報システムの開発法: 基礎と実践 (未来へつなぐデジタルシリーズ (21))", ISBN 978-4-320-12337-3, 共立出版 (2013.9)
受講上の留意点等	設計プロセス全体を継続して体系的に講義するので, 散発的な出席では理解できなくなる.
JABEE	関連する学習・教育到達目標: E、G